

# ひだまり

発行日 令和5年1月16日  
発行者 指定介護老人福祉施設  
緑愛園  
施設長 芦崎 祐公  
住 所 札幌市清田区  
北野1条1丁目6-28  
メール ryokuai@hokurou.or.jp

## 新年のご挨拶

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスに振り回された一年でありました。当施設で発生したクラスターでは、ご家族の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。ご承知の通り、クラスターは昨年中に終息を迎えることができましたが、北海道での感染者数は高止まりで経過しており、まだまだ気が抜けない日々が続いております。更にはインフルエンザの流行も耳にします。まさに昨年の世相を表す漢字一文字「戦（いくさ）」が物語るように、私たちも見えない敵=ウイルスとの戦いが続いております。令和5年（兔年）は“どんな一年になるのか”、時代の変化をいち早くキャッチし迅速に対応するため、我々も引き締め直す思いであります。

さて、昨年の本紙面でも少し触れさせていただきましたが、緑愛園としては“新たな一歩”を踏み出すべく施設建替えの構想が本格始動する年でもあります。当施設は築33年になるため老朽化も否めません。また、33年前の主流は「医療モデル」と言われ、病院のような長い廊下を挟むように居室が作られるものであります。しかし、現在はより家庭的な雰囲気施設の建設されております。

これまでの間、1,000～1,300坪程度の土地を探しておりましたが、これだけの広さの土地は当方の予算の都合もあり、そう簡単に見つかるものではありません。もちろん、北区・東区・南区など、清田区から大幅に離れた場所であれば候補はありましたが、“清田の地”にある緑愛園を選んでくれた皆様にとっても、そして現在働いているスタッフにとっても、大幅に場所が変わることは効果的ではないと考え、清田区内で探し交渉を進めております。尚、現在の土地は800坪程度しかないため、同じ場所に建替えができないことをご理解ください。

今春までには土地を確定させ、最先端の技術も投入した新しい介護時代へ一歩を踏みだしたいと希望を膨らませております。ご家族の皆様には、今後も広報誌などで経過をご報告させていただきます。末尾になりますが、今年1年が皆様にとって良い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



特別養護老人ホーム緑愛園  
施設長 芦崎 祐公



## 五平餅

12月上旬に虹の間で五平餅を作るレクを行いました。五平餅は、うるち米をつぶし丸めたものにタレをつけて焼く、長野県や岐阜県の郷土料理です。今回は緑愛園オリジナルの、ごまとピーナッツを混ぜた甘いみそダレをつけて召し上がっていただきました。久しぶりの調理レクだったため、皆様とても楽しそうに取り組まれており、フロアにはいい匂いが広がり、自然と居住者様や職員が集まっていました。完成した五平餅を食べながら「美味しいね」や「もう少し焼けばよかったね」など会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。



## クリスマス会と忘年会

12月下旬に各グループでクリスマス・忘年会を行いました。お寿司や寄せ鍋やケーキなどご用意し、居間はクリスマスの飾りつけがされ、にぎやかな雰囲気の中過ごしていただきました。「もう今年も終わるんだね」や「今年も早かったね」など年末あるあるの話で盛り上がり、居住者の皆様と楽しく1年を締めくくることができました。



## あとがき

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今年2年ぶりに祖母の家で年末年始を過ごしました。コロナ禍前は、年末に祖母の家に行くことは当たり前とっていたのですが、そんなことはなかったんだなとしみじみ感じながら過ごしていました。私は祖母が作ってくれる甘い茶碗蒸しが大好きなのですが、少し変わっていて底に春雨が入っています。小さい時から春雨入りの茶碗蒸しを食べていたので、お店で売ってるものには入っていないと知ったときは衝撃的でした。春雨がだしを吸って卵と絡んでとても美味しいので、茶碗蒸しを作る際にはぜひ入れてみてください！  
(生活相談員 北川)